

岡本工作機械製作所 (6125) アウトパフォーム (継続)

前 4Q より収益急回復し、18/3 期は 17.9%増収、75.7%経常増益予想、配当も 5 円配表明

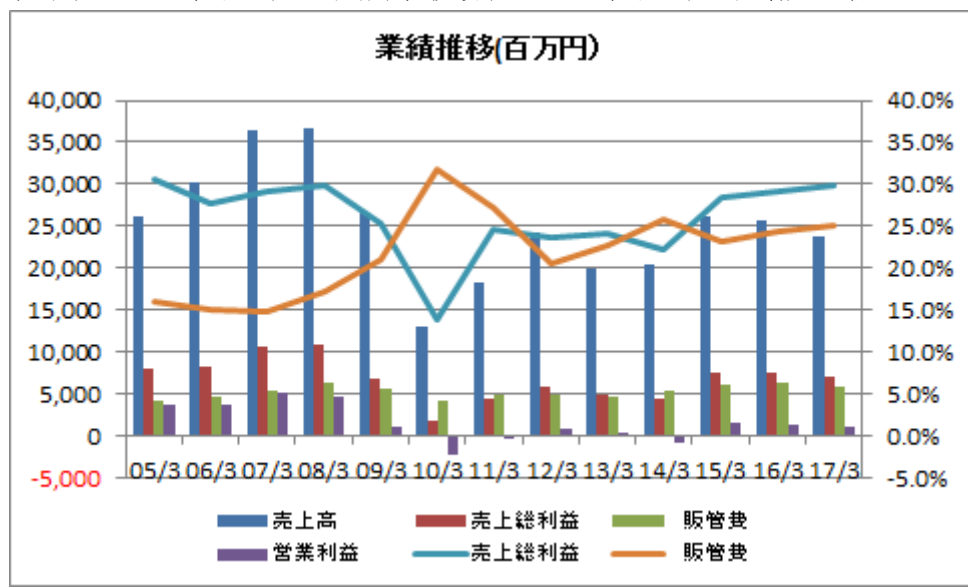
株価 193 円 (5/16) 時価総額 91 億円 (5/16) 発行済株 47,179 千株 (5/15)  
 PER (18/3DO 予 : 6.8X) PBR (0.9X) 配当 (18/3) 5.00 円 配当利回り : 2.59%

要約

- ・ 17/3 期は 7.3%減収、7.1%営業減益と売上 13 億円減額も営利 1.3 億円増額、配当 1 円増配
- ・ 18/3 期は 4Q 好調を持続、17.9%増収、40.4%営業増、75.7%経常増益、配当 5 円配予想
- ・ 株価は適正税率での 18/3 期予想 EPS21.3 円に対して機械平均 PER19.3 倍の 410 円

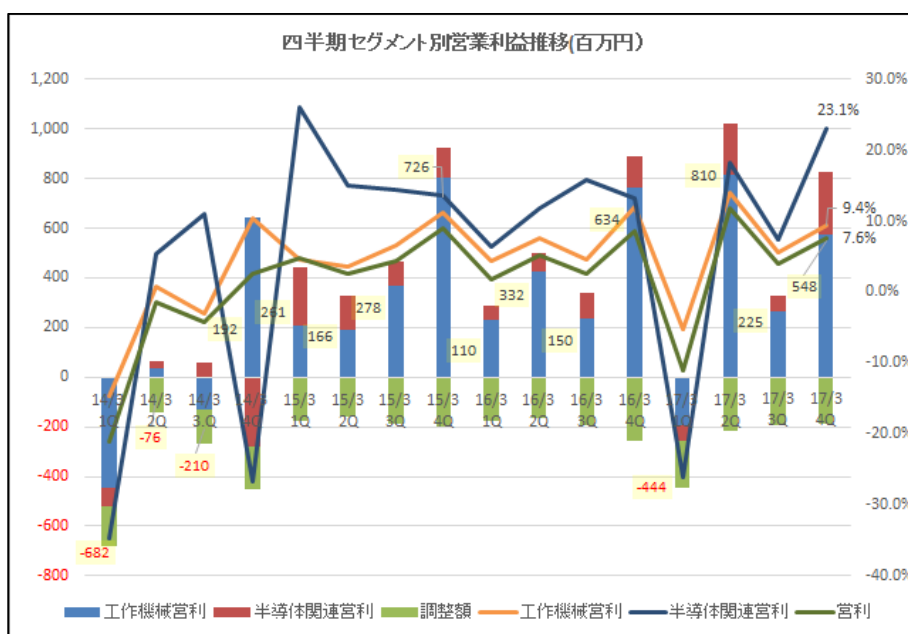
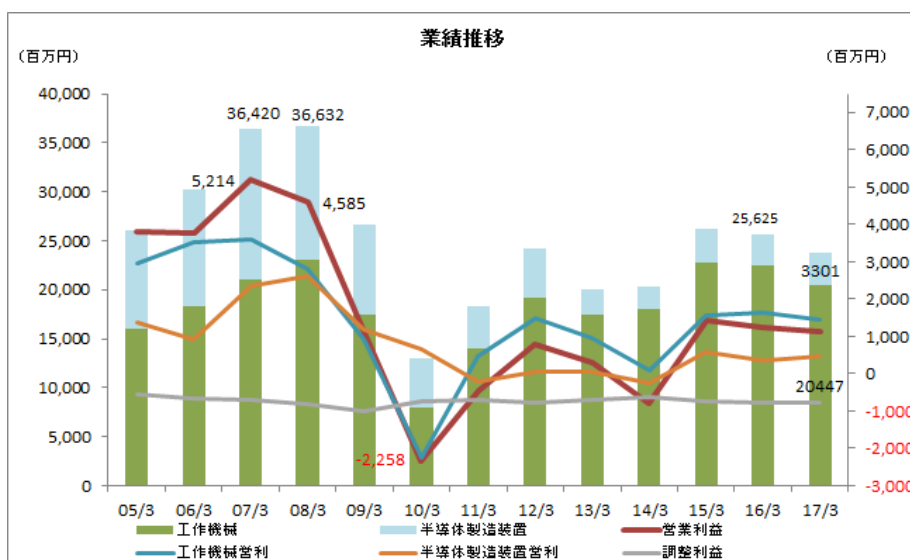
17/3 期は 7.3%減収、7.1%営業減益と売上 13 億円減額も営利 1.3 億円増額、配当 1 円増配

5/15 に 17/3 期業績が開示された。17/3 期は売上高 237.49 億円 (7.3%減)、営業利益 11.39 億円 (7.1%減)、経常利益 7.68 億円 (20.9%減)、税引利益 5.77 億円 (2.9%増) で着地した。5/10 にすでに業績見直し変更を開示、計画比売上高で 13 億円減額も営利は 1.3 億円増額経常利益 0.6 億円、税引利益 1.7 億円の上方修正となった。また配当は 1 円増配し、年 4 円配とするとアナウンスした。



部門別では工作機械が売上高 204.47 億円 (9.1%減)、営利 14.65 億円 (11.4%減) と、国内が半導体や工作機械業界向けに大型平面研削盤などが好調な一方で汎用平面研削盤が不振、海外も欧州以外が不振で収益が低迷した。但し受注では 1.0%減の 209.14 億円と、国内が前年並みを確保、海外も上期不振を下期に挽回し微減となった。四半期推移では 1Q をボトムに収益性がアップ、4Q では営業利益率が 9.4%まで回復した。半導体関連装置は

売上高 33.01 億円 (5.3% 増)、営業利益 4.57 億円 (25.1% 増)、受注 44.53 億円 (35.6% 増) と、半導体設備投資増を受けて主力のファイナルポリシャー、グラインダー、スライサー、次世代パワー半導体関連装置、電子部品業界向けでも高精度ラップ盤などが好調に推移し、収益性も向上した。四半期推移では 4Q に営業利益率 23.1% とジャンプアップした。



全体を通じ、下期に入っの受注回復が 4Q での収益本格回復に寄与している。

### 18/3 期は 4Q 好調を持続、17.9%増収、40.4%営業増、75.7%経常増益、配当 5 円配予想

18/3 期会社予想は売上高 280 億円 (17.9% 増)、営業利益 16 億円 (40.4% 増)、経常利益 13.5 億円 (75.7% 増)、税引利益 11 億円 (90.5% 増) 予想。前 4Q の受注好調を受け、収益拡大が続く見通し。なお、10/1 に株式併合 10 株につき 1 株、単元株変更 1000 株から 100 株を実施予定。

現在、工作機械は業界全体が受注回復期にあり、特に同社は半導体製造装置業界、電子部品業界、FPD 製造関連業界向けに大型、精密平面研削盤で高いシェアを持ち、業界平均を

上回る受注増が期待される。また半導体関連装置も半導体ウエハ製造関連の繁忙に加え、次世代半導体向けなど本格拡大で収益上伸が期待される。特に半導体設備投資が本格拡大する中国向け受注の伸びが期待される。

全体として、18/3期会社予想は十分達成可能とみるが、受注面では19/3期に向けてさらなる拡大が見込める。なお、会社側は工作機械や半導体製造関連の機種別動向、地域別動向などの開示は説明会まで行なわないため、アナリスト向け決算説明会 6/12 開催後に改めてレポートしたい。

### 株価は適正税率での18/3期予想EPS21.3円に対して機械平均PER19.3倍の410円

株価は2/8に208円まで上昇のあと全体相場とともに下落も、1月安値141円を切らなかったこともあり回復に転じてきた。5/10に17/3期の業績修正アナウンスでも反応薄だった。この時点でPER13.3倍であり、割安感があつたが、今回18/3期収益の大幅増益予想を受けて本格的な上昇が期待できる。当面18/3期会社予想EPS24.86円に対して、適正税率適応分ではEPS21.3円と見込まれ、機械平均PER19.3倍の410円を目標としたい。なお、次世代デバイス向け製造装置が具体化すれば、新たな次世代半導体製造装置関連銘柄としてPER30倍程度まで変貌する可能性も秘めている。

岡本工作機械製作所(6125)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
15/3期	26,149	28.5%	1,431	黒転	1,035	黒転	870	黒転	19.6	3.00
16/3期	25,625	-2.0%	1,226	-14.3%	971	-6.2%	561	-35.5%	12.7	3.00
17/3上期	10,909	-12.1%	366	-17.2%	135	-64.3%	63	-64.1%	1.4	0.00
17/3下期	12,791	-3.2%	764	-2.6%	625	6.5%	507	32.0%	11.6	0.00
17/3期会予(期初)	25,000	-2.4%	1,000	-18.4%	700	-27.9%	400	-28.7%	9.0	3.00
<b>17/3期</b>	<b>23,749</b>	<b>-7.3%</b>	<b>1,139</b>	<b>-7.1%</b>	<b>768</b>	<b>-20.9%</b>	<b>577</b>	<b>2.9%</b>	<b>13.0</b>	<b>4.00</b>
18/3上期会予	13,000	19.2%	500	36.6%	350	159.3%	250	296.8%	5.65	2.00
18/3下期会予	15,000	17.3%	1,100	44.0%	1,000	60.0%	850	67.7%	19.21	30.00
18/3期会予	28,000	17.9%	1,600	40.5%	1,350	75.8%	1,100	90.6%	24.86	50.00
19/3期会社中計予想	32,000	14.3%	2,550	59.4%						
18/3上期DO予	13,200	21.0%	550	50.3%	400	196.3%	300	376.2%	6.8	2.00
18/3下期DO予	15,300	19.6%	1,250	63.6%	1,150	84.0%	950	87.4%	21.47	30.00
18/3期DO予	28,500	20.0%	1,800	58.0%	1,550	101.8%	1,250	116.6%	28.25	50.00
19/3期DO予	32,500	14.0%	2,450	36.1%	2,200	41.9%	1,600	28.0%	361.6	70.00

通期	15/3	16/3	17/3	18/3 会予	18/3DO	19/3DO
売上高	26,149	25,625	23,749	28,000	28,500	32,500
営業利益	1,431	1,226	1,139	1,600	1,800	2,450
経常利益	1,035	971	768	1,350	1,550	2,200
特別利益	5	10	81			
純利益	870	561	577	1,100	1,250	1,600
工作機械	22,807	22,488	20,447		24,000	26,500
半導体製造装置	3,339	3,136	3,301		4,500	6,500
工作機械営利	1,571	1,653	1,465		1,850	2,050
半導体製造装置営利	584	365	457		750	1,200
調整利益	-724	-793	-783		-800	-800

